



第5期：平成 25 年度事業報告

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日



目 次

I. 経緯	2
II. 実施事業	3
(1) 障がい者福祉サービス介護保険に係る事業	
1. 障害スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業	3
1-1. 障がい者スポーツ団体組織化および運営支援事業	
1-2. 障がい者スポーツ研修会・大会への参加	
2. 障がい者（児）および高齢者のデイサービス事業	4
2-1. 日中活動系サービス事業	
2-2. 放課後等デイサービス事業	
2-3. 日中一時支援事業（児童）	
2-4. 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業	
2-5. 居宅介護支援事業	
3. 障がい者スポーツ用品製作及び販売	10
3-1. 障がい者スポーツ用品の試作・製作	
4. 障がい者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業	10
4-1. 居宅介護事業	
4-2. 訪問介護事業	
5. 障がい者ならびに障がい者についての啓発に関する事業	12
5-1. 講師派遣事業	
5-2. 同行援護従業者養成研修	
6. 障がい者自立支援法に基づく移動支援事業	12
6-1. 移動支援事業及び同行援護事業	
III. その他の社会貢献	13
(1) 介護等体験実習生の受け入れ	
(2) ボランティアの受け入れ	
VI. 法人の運営に関する事項	14
(1) 平成24年度理事会・評議員会の開催	

I 経緯

平成 16 年 2 月 17 日に特定非営利活動法人の認証を受け名称をアス・ライフサポートとしてスタートした。平成 16 年 7 月に支援費制度（当時）および平成 16 年 8 月に介護保険事業を開始、制度の変遷の波にもまれながら、独自の障がい者支援の道を歩んできた。

平成 20 年 2 月 4 日に第 1 回社会福祉法人アス・ライフ設立準備委員会を開催し、4 回に亘る準備委員会を重ねて平成 21 年 7 月 8 日に山口県から社会福祉法人の認可を頂いた。

翌年に山口県及び山口市の施設整備補助金を受け、念願であった施設建設工事（駅通り）を行い平成 22 年 2 月 26 日に竣工した。

施設の完成により、全ての事業を平成 22 年 4 月 1 日付けにて NPO 法人から社会福祉法人アス・ライフに継承し、新施設（駅通り）に障がい者自立支援法（当時）による障がい者福祉サービス事業の生活介護・機能訓練・生活訓練事業所を多機能型アス・ライフとして移転した。

平成 23 年度には中園町にある児童（放課後等）デイサービスフォア・アスが山口県の基盤整備補助金を受けて全面改装し、バリアフリー化した。

平成 24 年度には多機能型アス・ライフ（駅通り）に、就労移行支援事業所を追加し、4 月より 6 人定員でスタートし 2 年目に定員を 12 名に増員した。

そして、今年度は山口県共同募金会からの助成金で高齢者と障がい者がお互いに助け合う共生社会をめざす就労支援事業を展開した。

介護保険部門では、平成 24 年 12 月に介護保険通所介護事業所大市デイサービスセンター及び訪問・居宅・重度訪問介護事業所アス・ヘルパーステーションを新築移転した。

それに伴い居宅介護支援事業も新規開設した。

平成 24 年度は高齢者の介護保険部門においては基盤を固め、そして今年度は地域の民生委員等からの相談や利用者の増加など地域に浸透して成果として現れた。

スポーツ支援では、日中活動系サービスでの練習機会の提供、ガイドヘルパーによる練習や大会参加の支援を積極的に行った。

収支面では、全部門での利用者増加により、また生活介護障害区分での配置加算などの収入により第 5 期も経常ベースで黒字決算となった。

平成 25 年度は、地域社会のご支援のもと創立 10 年を迎えることが出来、意義深い年度となった。今後も障害や高齢であっても生き生きと生活していくことを支えるというアス・ライフの理念を将来にわたって実現するため、まだまだ経営の改善に取り組んでいく所存である。



社会福法人アス・ライフ
創立 10 周年記念謝恩会

II 実施事業報告

(1) 障がい者福祉サービス・介護保険に係る事業

1. 障がい者スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業

1-1

事業名 障がい者スポーツ団体組織化および運営支援事業
概要 山口県ボッチャ協会、事務局を山口市駅通り
1-3-10 アス・ライフ内に設置しており、
毎週金曜日及び毎月第3火曜日の夜に強化練習
を実施するなど、期を通して運営の支援を行っ
た。



1-2

事業名 障がい者スポーツ研修会・大会への参加
概要 以下のスポーツ大会への障がい者の参加を支援した。

- ・平成25年度タンデム教室
平成25年5月11日 維新百年記念公園
- ・第13回キラリンピック大会（フライングディスク）
平成25年5月12日 山口きらら博記念公園会場
- ・第13回キラリンピック大会（陸上）
平成25年5月19日 維新百年記念公園他各会場
- ・山口県ボッチャ審判講習会
平成25年6月2日 山口市リフレッシュパーク
- ・第15回日本ボッチャ選手権大会福島予選大会
平成25年7月12日～14日 福島県営あづま総合体育館
- ・第13回キラリンピック大会球技の部
平成25年10月27日 山口市リフレッシュパーク
- ・山口県リクレーション大会
平成25年11月10日 周南市立遠石小学校
- ・山口県ボッチャ審判講習会
平成25年12月8日 山口市リフレッシュパーク
- ・第15回日本ボッチャ選手権大会
平成25年12月21日～23日 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
- ・第11回山口県障がい者交流ボッチャ大会
平成26年2月16日 防府ソルトアリーナ

- ・第2回障害者スポーツ相談会
平成26年2月23日、パルトピア
- ・その他各大会各競技において、定期練習、合同練習、強化練習の支援を期を通して行った。

2. 障がい者（児）および高齢者のデイサービス事業

2-1

事業名 日中活動系サービス事業

概要 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障がい者総合福祉法）において、日中活動系サービスとして位置づけられるサービスを以下のとおり行った。

生活介護：定員25名、機能訓練：6名（平成26年1月より休止）生活訓練：定員6名、就労移行支援：定員12名。

他事業所はサービス提供が少ない土曜日、祝祭日もサービス提供を行った。（年末年始休業は12月30日～1月3日）利用希望者がいない機能訓練を休止し、その分、就労移行支援の定員を増やし、利用者のニーズに沿ったサービス提供の体制を整えた。

社会福祉法人となり4年目で、地域に根差した、地域の



社会資源となり得る活動ができるよう、地域住民、学校関係、関係機関との連携をより強化し、地域から信頼されるサービス提供を目指した。生活介護での工賃獲得を目標に、24年度より活動していたが、25年度より、製品の家族会に向けた販売を開始した。

また、空き缶やペットボトルのリサイクル活動にも取り組んだ。26年1月からは、得られた収入から、利用者への工賃の支払いを開始した。利用者の活動意欲の向上につながっている。

主な行事：花見（3月25日、26日、28日、29日）りんご狩り（10月8日、17日、11月1日）クリスマス会（12月19日～25日）、初詣（1月6日、7日、9日、10日）



利用者数 登録利用者数（平成26年3月現在）

- ・生活介護： 52名
- ・機能訓練： 0名
- ・生活訓練： 5名
- ・就労移行： 8名
- ・自費： 0名
- ・合計： 65名



述べ利用者数（平成25年4月～26年3月、事業日数：（308）日、単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	359	385	381	408	417	374	413	386	372	369	369	391	4,624 (4,130)
機能訓練	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22 (337)
生活訓練	30	43	40	38	40	38	42	48	36	49	51	51	506 (269)
就労移行	154	160	135	163	155	166	177	167	163	144	138	114	1,836 (982)
生活介護 自費利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (40)
合計	556	597	556	609	612	578	632	601	571	562	558	556	6,988 (5,758)

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

日中一時支援事業

利用者数 登録利用者数（平成26年3月現在）

- ・日中一時： 13名

のべ利用回数（平成25年4月～26年3月）

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
80	96	75	96	95	87	96	105	74	76	78	83	1,041 (882)

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

事業名 放課後等デイサービス事業

概要 障害のある子どもたちが、日常生活を通して基本的な生活習慣や人・物とのかかわり方を習熟することで、社会適応をよりスムーズにできるように支援していく。また、障害の特性等を十分に理解し、より適切な支援をすることで、子どもたちが主体的、自立的に活動を支援していく。

そのためには、子ども一人ひとりに「できる状況づくり」などの環境を整えていく必要がある。

子どもたちを日中デイサービスをすることで、保護者、家族の介護・養育負担を軽減し、子育て支援の一助に資することができる。



利用者数 登録利用者数（平成26年3月現在）

60名（男子39名、女子21名）

のべ利用者数（平成25年4月～26年3月、事業日数：（307日）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
266	268	260	281	251	260	268	274	246	249	249	255	3,127 (3,135)

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

支援概要

4月当初は、新しい学齢児が例年に増して（8名）利用することとなった。自閉症児の割合も一段と高くなり、新しい環境の下、子どもたちが施設や友だち、支援者になれることが急務であった。異年齢の子どもたちが同じ空間で活動するためには、一人ひとりの子どもの個性（特性）をしっかりと把握し、支援することが必要不可欠であった。

4月の下旬には新しい子どもたちのケース会議をおこない、支援の目的、方法や配慮すべき事項などを共通理解することに努めた。定例の集中ケース会議（約一週間）



も前期・後期に行い全利用者の支援計画を明確にした。また月例の職員会議では気になる子どものケース会議も随時行った。

長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）及び土曜日、祝日（14日）も多くの子どもたちが利用し日ごろの放課後デイとは違って、活動内容も多岐にわたった。具体的には仁保の河川プール身障者センターのプール、

維新公園のひょうたんプール、萩市のサンライフ萩、（土原プール）

- *公園関係・・・萩ウェルネスパーク、周防大橋となりの藤尾山公園、宇部市の河原谷公園、新亀山公園、維新公園児童センター、富田原公園、大歳公園、美東町公園道の駅公園、仁保道の駅公園、糸米砂防公園など
- *科学関係・・・防府青少年科学館ソラール、県立博物館、市立図書館、NHKなど
- *ショッピング・・・コスモス、ダイソー、フジグラン、レデイ、ゆめタウン、アルクなど
- *調理関係・・・夏休みのカレー作り週間（一週間）、夏休みの焼きそば、お好み焼き週間（一週間）随時お菓子作りなど

多くの買い物体験や、調理体験、公共機関の利用などを通して生活をする力を育むことができ子ども自身が楽しく積極的の活動できたことが喜びである。

問題点及び課題

①放課後等デイサービス事業

- ・常時、利用児童の定員が十分確保できている。年度当初から次年度の利用や2年先の利用予約を伴う見学者が多く、受け入れ困難な状況が引き続いている。（年度末現在待機児童が11名に及んでいる。）
- ・施設の手狭さが活動したい内容と、それを保障するためにはスペースを構造化し子どもの活動をスムーズにすることに苦慮した。
- ・上記と関連するが、他からの刺激を過敏に受けやすい子どもが多く、活動支援の効果がそがれることが多々あった。
- ・活動をスムーズにするため、室内・屋外活動を常に入れて活動の流れをつくり、メリハリを付けながら、興味や関心を高め、楽しく過ごせるようにしている。
- ・いろいろな障害を持った子どもたちが、多く利用している。基本的な障害の特性を十分に支援者が理解し、特化した支援方法を支援者全体で高めていき、より専門性の高いサービスを目指す必要がある。
- ・施設内全体はバリアフリー化しており、トイレの利用、室内のオープンスペースや個々のブースやパテーションで活動をしやすいはできている。子どもたちは自分の興味や関心あることに集中できている。
- ・自閉症児への有効な支援方法の情報入手や研修で、支援者の技量を一層、高めることが重要である。
- ・生活年齢にも配慮した支援も必要である。



2-3

事業名 日中一時支援事業（児童）

概要

- ① 放課後等デイサービス事業と同じく、希望者が増加傾向にある。職員を配置することが困難な場合が多い。
- ② 報酬単価が低く、職員配置が難しい。



利用者数 登録利用者数（平成26年3月現在）
55名（男子35名、女子20名）

のべ利用回数（平成25年4月～26年3月）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
35	10	5	36	35	20	10	12	14	26	15	42	260 (303)

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

研修会・見学等（行事）

- ①社会福祉法人新人職員研修会 該当者なし
- ②児童障がい者福祉施設中堅職員研修会 一部 6/24, 9/12
二部 7/24, 9/12
- ③児童・障がい者（児）福祉施設等福祉レクリエーション研修 12/11
- ④山口市自立支援協議会（定例会議） 山口市地域支援協議会（月例）
- ⑤障害児部門会議（月例）
- ⑥生徒にかかる連絡会 山口大学附属特別支援学校 6月
山口総合支援学校 3月
- ⑦保護者会 「卒業後の進路選択について」講話 11月
- ⑧第6回お餅つき会 12/16
- その他 … 利用者アンケートの集計（別紙）

2-4

事業名 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業

概要

訪問介護ステーション・通所介護サービス・居宅介護支援サービスを同事業所で行うことで一体化するとともに情報の共有化スピード化を図りより適切な介護支援が出来るようにした。

利用者の状況やご家族の意向を的確に把握し対応する事で、ご本人の生活や機能維持向上を図るとともにレスパイトケアに結びつくよう対処する。また、商店街に近い立地状況を使い利用者に



日々の生活・季節感・社会生活・交流
 ができるよう計らう。

認知症の高齢者が増すと共に認知症の利用者が増加している。ますます認知症への理解と対応が必要になってきている。今後の高齢化社会を鑑み障がい者福祉サービスのアス・ライフとの連携も視野に入れ障がい者の高齢化要介護に適応できるよう連絡をとる。



近隣高齢者や地元地域住民との交流も考慮し季節ごと、もしくは年間恒例行事等地域貢献も積極的に立案・実行してゆく。

年間行事

1) レクリエーション

- H25年4月3日 花見（徳佐八幡宮）
- 8月28日・30日 そうめん流し
- 10月15日・16日 りんご狩り（徳佐中尾りんご園）
- 12月20日 バルーンアート
- 12月26日・27日 クリスマス会
- H26年1月17日・18日 初詣（防府天満宮）

利用者数 登録利用者数（平成26年3月現在）

- ・介護保険通所介護 : 17名
- ・介護予防通所介護 : 5名
- ・合計 : 22名



のべ利用回数（平成25年4月～26年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	90	102	102	116	146	122	143	155	127	123	129	162	1,517 (1,117)

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	26	29	33	43	37	41	40	36	32	31	27	27	402 (188)
合計	116	131	135	159	183	163	183	191	159	154	156	189	1,919 (1,305)

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

2-5

事業名 居宅介護支援事業

概要 介護認定を受けた高齢者の介護サービス計画を立案し、本人の意向のもとサービス事業者を選定紹介し適切な対応を依頼し、対応状況を確認する。介護認定を受けていない高齢者の介護認定の支援をする。認知症や機能障害で介護の必要な高齢者または要介護認定者の支援をするとともに介護者（おもに家族）のレスパイトケアを行う。

40才以上の特定疾病認定者は介護保険支援の対象となり近年増加傾向にある。65歳以上は自動的に介護保険対象になり介護保険証が発行される。しかし多くの高齢者が介護認定を受けていないか認定申請方法がわからず支援を受けられないままになっている。団魂の世代が65歳以上の高齢者になりつつある今般介護サービスの需要は増加している。介護サービス事業者も新規開設している。有料老人ホームなど終身を過ごす24時間体制の介護施設もたくさん出来ているがそれぞれに一長一短があるとともに、利用者にとって過ごしやすい施設もある中、利益優先の事業所もあり、事業所の実態をよく把握し、より良いサービス提供事業者を紹介できるよう把握していくことが大切である。

利用者数 登録利用者数（平成26年3月現在）

・居宅介護支援 : 17名

のべ利用回数（平成25年4月～26年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	10	11	15	18	19	18	15	14	14	12	12	14	172

※（ ）は前年（平成24年4月～25年3月）実績

3. 障がい者スポーツ用品製作及び販売

3-1

事業名 障がい者スポーツ用品の試作・製作

概要 アス・ライフにおいて、必要とする利用者さんに適したボッチャ用具、関連用具のメンテや製作を行った。

4. 障がい者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業

4-1

事業名 居宅介護事業（障がい者自立支援）

概要 障がい者の在宅での自立生活を支援するため、山口市内外の利用者に居宅介護お

よび重度訪問介護のサービス提供を行った。

利用者数 登録利用者数 (平成26年3月現在)

- ・ 居宅介護 15名
- ・ 重度訪問介護 3名
- 合 計 18名

・ 訪問介護 のべ利用回数 (平成25年4月～26年3月) (名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
137	137	142	156	148	151	155	150	159	142	139	147	1,763 (1,590)

・ 重度訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	7	7	8	9	8	10	10	7	7	7	8	95 (82)

※ () は前年 (平成24年4月～25年3月) 実績

4-2

事業名 訪問介護事業 (介護保険)

概要 高齢者の在宅での自立生活を支援するため、介護もしくは支援を要する高齢者に介護保険訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行った。



利用者数 登録利用者数 (平成26年3月現在)

- ・ 訪問介護 : 17名
- ・ 介護予防 : 32名
- ・ 経過的予防介護 : 0名
- 合 計 49名

述べ利用回数 (平成25年4月～26年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	306	308	307	313	308	303	313	335	309	276	274	286	3,638 (4,260)
介護予防	147	171	162	183	182	206	217	190	182	186	184	222	2,232 (1,640)
合計	453	479	469	496	490	509	530	525	491	462	458	508	5,870 (5,900)

※ () は前年 (平成24年4月～25年3月) 実績

年間行事

1)ヘルパー会議

- H25年 5月27日 ヘルパー会議・研修（記録の書き方）
7月29日 ヘルパー会議・研修（倫理法令マナー研修）
9月30日 ヘルパー会議・研修（認知症について研修）
11月25日 ヘルパー会議・研修（感染予防についての対応）
H25年 1月27日 ヘルパー会議・研修（緊急対応とクレームについて）
3月31日 ヘルパー会議・研修（見看りについて）

5. 障がい者ならびに障がい者についての啓発に関する事業

5-1

事業名 講師派遣事業

概要 障がい者に対する社会の正しい認識を高めるため、各種団体・小中学校・施設などの講演への講師派遣を行った。

5-2

事業名 同行援護従事者養成研修

概要 平成17年から実施している視覚障害者移動介護従事者（ガイドヘルパー）養成研修が同行援護に改正されて、初の同行援護従事者養成研修を平成25年4月14日・21日・28日・5月12日の4日間で実施した。毎回受講生から好評の藤尾幸恵氏（歩行訓練士）をメイン講師に招きアス・ライフで研修を実施した。視覚障がい者の心理、白杖の使い方、視覚障がい者の食事の介助、商店街での外出など、同行援護の知識・技能を習得した人材を育成した。今期の研修は、一般課程40名、応用課程14名の述べ54名が修了した。



6. 障がい者自立支援法に基づく移動支援事業

6-1

事業名 移動支援事業（地域生活支援事業）及び同行援護事業

概要 全身性障がい者の移動支援（地域生活支援事業）及び視覚障がい者の同行援護事業を行った。

移動支援は、地域生活支援事業の一つとして障がい者に提供される福祉サービスであり、事業所は利用者が居住する各市町と事業委託契約を結んでサービス提供を行う。視覚障がい者の同行援護は法改正により新たに始まった制度である。外出時の介助が必要な障がい者にとって、きわめて有意義な制度であり、アス・ライフがとくに力を入れている事業の一つである。サービス提供と従業者養成研修を合わせ

て実施してきたことで、行政担当者や利用者の間での認識が高まってきたものと自負している。

利用者数 登録利用者数 (平成26年3月現在)

- ・全身性： 35名
- ・視覚障害： 12名
- 合計： 47名



述べ利用回数 (平成25年4月～26年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身性	79	69	63	66	66	63	84	72	59	63	69	68	821 (866)
視覚	47	55	46	35	35	41	49	47	53	42	38	40	528 (357)
知的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)
合計	126	124	109	101	101	104	133	119	112	105	107	108	1,349 (1,223)

※ () は前年 (平成24年4月～25年3月) 実績

Ⅲ. その他の活動 (社会貢献)

(1) 「介護等の体験」実習生の受け入れ

教育職員免許法の特例にもとづく山口県社会福祉協議会の依頼により、「介護等の体験」実習生を年間を通して受け入れた。

今期は、合計33名 (山口大学) の実習生を受け入れ、H25.6/10～11/18 の間に、アス・ライフにて12名、H25.6/10～11/29 の間に大市デイサービスセンターにて21名、それぞれ月曜から金曜まで各々5日間の実習をおこなった。

(2) ボランティアの参加

今期は、囲碁、将棋、クリスマス、もちつき大会など、105名の方がボランティアとして参加し、レクリエーションやポッチャ等のスポーツ活動の支援をしてくださった。

(大市デイサービスセンター 13名 / フォア・ア89名 / アス・ライフ3名)



VI. 法人の運営に関する事項

(1) 平成25年度理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
平成25年 5月22日	第1回理事会	平成25年 5月22日	第1回評議員会
平成25年 5月22日	第2回理事会	平成25年 5月22日	第2回評議員会
平成25年 5月22日	第3回理事会	平成25年11月14日	第3回評議員会
平成25年 7月16日	第4回理事会	平成26年 3月26日	第4回評議員会
平成25年11月14日	第5回理事会		
平成26年 3月26日	第6回理事会		

特記事項

H24年度事業報告、決算報告、監査報告及びH25年度事業計画、予算案について承認。
理事、評議員の改選について承認。就労継続B型事業所開設準備の取り組みについて承認。
10周年記念誌作成等について承認。独立行政法人福祉医療機構及び萩山口信用金庫からの借入について承認。退職金制度導入について承認。パート職の福利厚生センター加入について承認。第一生命借入金一括返済について承認。社会福祉法人経理規定について承認。
就労移行支援の土地購入について承認。

その他、退職金制度検討委員会2回開催（過去勤務の扱いについて検討）

(以上)